

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 図書館環境整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

岐阜県図書館 管理調整係 電話番号：058-275-5111 (内 291)

E-mail：c21803@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 128,204 千円 (前年度予算額：226,152 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一般 財源
前年度	226,152	0	0	0	0	0	0	202,200	23,952
要求額	128,204	0	0	0	0	0	0	115,300	12,904
決定額	121,794	0	0	0	0	0	0	109,600	12,194

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県図書館は平成7年7月に開館して25年が経過し、施設設備の経年劣化等がみられるため、図書館の安全安心な環境の整備を実施する。

(2) 事業内容

①エレベーター改修工事

図書館のエレベーター(5台)の既存不適格状態解消のための改修工事を行う。

②大規模設備改修工事に向けた調査及び修繕計画策定等業務

今後、主要設備の改修工事が計画されているが、図書館として適正な中長期保全計画を計るため、建築設備等の詳細な劣化調査を行い、最適な改修内容・手法を検討し、各設備の概算工事費を算出する。

また、調査のうえ、令和4年度にすべき工事の設計業務を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担 10/10 県公用施設の改修であるため。

(4) 類似事業の有無

有：図書館設備等更新事業費

図書館資料の提供に使用する物品を計画的に更新する

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	15,574	大規模設備改修のための調査及び修繕計画策定業務 エレベーター改修工事の工事監理
工事請負費	112,630	エレベーター改修工事費
合計	128,204	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ 県有施設中長期保全計画

(2) 後年度の財政負担

①は、令和3年度に工事を実施して完了。

②の実施後、中長期保全計画を見直し、それに基づき要求予定

※劣化調査の上、令和4年度に必要な工事については、令和4年度
当初予算要求を行う。

(3) 事業主体及びその妥当性

岐阜県図書館は年間約55万人に利用され県民の課題解決や生涯学習を支える教育施設であり、施設管理者として安全・安心な環境づくりを推進する。

県中長期保全計画における改修サイクルの時期となっており、定期点検の結果等においても改修の必要性について指摘されているため、改修実施は必要である。さらに、利用者等への影響を押さえ、今後のライフサイクルコスト（財政負担）を抑制し、最適な修繕計画を計るためにも、専門家による見直しは必要である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県民にとって安全・安心な公共施設として図書館を維持・運営管理していく上で必要とする設備改修することにより、老朽化・経年劣化等によるトラブルを解消し、信頼性の高い施設環境づくりを目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

図書館を維持管理するための環境整備であり、指標は設定できない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

○岐阜県図書館特定天井改修工事

図書館エントランスロビー及び多目的ホールが特定天井であり、建築基準法に規定する基準に則する既存不適格状態に対し改修を行った。

○多目的ホール音響照明等改修工事

開館以来更新していない多目的ホール音響・照明等設備の更新及び改修を行った。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

図書館エントランスロビー及び多目的ホールの特定天井部分の既存不適格状態が解消され、万が一の事態が発生した場合において、法的に利用者に対しての安全が確保された状態となっている。

また、多目的ホールの音響・照明設備の更新及び改修を行い、有料にて利用する施設として、利用者にとってより利用しやすい環境となり、施設利用率の向上も見込める。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	図書館利用者の安全・安心を確保し、快適な環境を整備するため、必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>図書館が平成7年に開館してから24年が経過しており、今後ますます施設設備の老朽化が進むことが予想される。今後も計画的に改修を実施して老朽化・経年劣化等によるトラブルを解消し、安全安心な環境を整備していかなければならない。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>図書館は年間約55万人の利用がある施設であり、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の利用がある。今後も施設設備の老朽化・経年劣化等が進むなか計画的に改修を実施して、安全安心な施設環境づくりを目指す。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	

